

平成 29 年度 事業実施報告書

1

生産性向上・合理化推進事業〔公益事業1〕

本事業では「ものづくりの現場力をいかに強化するか」を基調に、生産性の向上、品質・コストの改善において不可欠な実務知識や実践ノウハウを習得する場として、多様な切り口からセミナーや研修を開催した。

1-1 生産管理実務研修

概要	顧客ニーズや受注変動に柔軟に対応できる現場づくり、スピードとコストの両面で競争力を発揮することを目指して、生産管理に関わる幅広いテーマを取りあげた。	
実施内容	「生産管理」、「原価管理」、「外注管理」、「在庫管理」など	
	開催件数	63回

1-2 品質管理実務研修

概要	品質の確保・向上に必須のQC手法や標準化といった管理技法。およびヒューマンエラー予防、不良品の再発防止策など、実務視点でのセミナーを開催した。	
実施内容	「不良ゼロ対策」、「検査業務の見直し」、「作業標準書の作成」など	
	開催件数	57回

1-3 現場改善実務研修

概要	あらゆるムダを排除し、コスト削減とリードタイム短縮を図る。職場の改善意識を高め、現場力に磨きをかけるための実践技法を様々な角度から取りあげた。	
実施内容	「5S実践」、「段取り改善」、「ムダ取り」、「見える化」、「改善提案」など	
	開催件数	64回

1-4 工場管理実務研修

概要	工場の管理・運営に関わる実務テーマを相互に関連づけ、幅広い知識を複合的に学ぶとともに、職位・立場に応じて求められるスキルを習得させた。	
実施内容	「工程管理実践研修コース」、「現場の問題解決」、「製造現場の部下指導」など	
	開催件数	38回

2

技術強化・環境対策推進事業〔公益事業2〕

本事業では、企業の技術力向上を目的として、設計・開発部門から図面をもとに製品・部品を形づくる加工技術の領域、円滑なものづくりを支える生産技術、および環境対応技術にいたるまで、全方位的にテーマを設定して研修を開催し、技術系人材の育成を図った。

2-1 工業技術セミナー

概要	ものづくりを支える現場技術や生産技術に携わる人材を育成するとともに、さらなるスキルアップを図るため、幅広い技術テーマを取りあげて研修を開催した。	
実施内容	「金属加工技術」、「機械材料」、「表面処理」、「電気・シーケンス制御の基礎」など	
	開催件数	74回

2-2 環境技術セミナー

概要	環境ISOの運用、工場の省エネルギー対策、各種環境法規制への対応など事業活動に関わる環境課題を取りあげたセミナーを開催した。	
実施内容	「ISO14001 内部監査員研修」「工場の省エネ」、「環境法規制対応」、「廃棄物処理」など	
	開催件数	12回

2-3 設計実務研修

概要	生産の最上流工程である開発・設計は、コストや品質に大きく影響することから技術者の能力開発が欠かせない。また、共通言語としての図面は全員が身につけておくべき知識であるため、設計と製図をテーマに実務視点での研修を実施した。	
実施内容	「設計力強化研修」、「自動機設計」、「自己検図」、「図面の読み方」など	
	開催件数	44回

2-4 技能開発訓練

概要	専門知識とともに技能が求められる技術分野については、実習を通して習得する場として、研修施設を持つ企業の協力を得て、実技訓練を行った。	
実施内容	「機械保全」、「空気圧技術」、「塗装技術」、「射出成形」など	
	開催件数	11回

2-5 大阪府工業技術大学講座		(後援/大阪府)
概要	若手・中堅技術者を対象とした長期夜間講座。機械系工学理論の基礎から応用技術までの修得、かつ高度な先端技術への理解を深めることを目的に、第57期として実施した。夜間の講義に加え、実習、見学研修をあわせて行い、企業の次代を担う技術者が身につけておくべき総合力を習得させた。	
実施内容	座学：「材料力学」、「機械製図」、「生産加工技術」、「機械計測」など27科目 実習：「NC旋盤」、「油空圧」、「溶接」、「製図」、「CAD」など7科目中2科目を選択受講 見学：ダイキン工業(株)、(株)西島製作所、(株)ジェイテクト、OKK(株)など10工場	
	開催期間	4月～平成30年3月

2-6 切削加工技術者養成講座	
概要	加工技術者に必要な知識や技術を、体系的に把握・理解することを目的とした長期研修。加工理論、工具、材料などの講義および加工実習・工場見学を行った。
実施内容	座学：「切削加工の基礎理論」、「工具の基礎」、「測定の知識」など夜間20回 実習：「旋盤」、「立フライス盤」、「直立ボール盤」、など8回 見学：DMG 森精機(株)、(株)ソリッドツール
	開催期間

3

経営強化・労務対策推進事業〔公益事業3〕

国内外の経営環境が依然として厳しいなかで企業が生き残りを図るためには、守りの戦術として財務面での経営基盤の強化や人事制度の整備を進める一方、攻めの戦術として営業力の拡充やグローバル市場の開拓にもいっそうの注力が求められる。こうした観点から、本事業では、現下の難局に立ち向かう取り組みを後押しし、必要な知識・情報の提供と人材育成を支援するため、各種セミナー・研修を実施した。

3-1 人事管理実務研修

概要	労働関係法令の理解、就業規則や人事考課、賃金、処遇など人事労務管理に関する多様な課題をテーマに、実務者を対象とした詳細なセミナーを開催した。	
実施内容	「人事労務管理基礎コース」、「賃金制度改訂」、「労働時間管理」、「採用戦略」など	
	開催件数	36回

3-2 営業強化実務研修

概要	営業力の強化と営業活動の効率化を目的として、管理者から第一線営業社員までの階層別教育、および営業戦略や行動計画の立て方などの実務セミナーを行った。	
実施内容	「営業力強化講座」、「交渉力強化」、「技術営業」、「新規開拓営業」など	
	開催件数	38回

3-3 国際経営実務研修

概要	グローバル経営に対応できるスタッフを養成するため、貿易にかかる各種手続き、海外調達、海外赴任者の処遇などの実務課題を取りあげ、セミナーを開催した。	
実施内容	「貿易実務講座」、「ビジネス英語」、「国際物流」など	
	開催件数	11回

3-4 階層別能力開発研修

概要	経営目標の達成に向け、各自の責任・役割に対する自覚を促すため、各階層に求められる実務知識・基本行動を再確認する研修を行った。	
実施内容	「部長研修」、「課長研修」、「係長研修」、「主任研修」など	
	開催件数	38回

3-5 経営管理実務研修

概要	変化の時代に対応する経営組織の改革や経営管理機能の充実を目的として、マネジメント部門の実務スタッフを対象に、中長期の研修コースを開催した。	
実施内容	「経理実務基礎／ステップアップ」、「損益分岐点分析」、「危機管理」など	
	開催件数	36回

4

経営交流・技術交流推進事業〔公益事業4〕

異業種の企業が集う協会ならではの特性を活かし、企業間の相互交流と多方面からの情報収集を促進する本事業は、人材育成と並ぶ協会事業の大きな柱である。

昨今、市場のグローバル化や新興国の急激な追い上げを背景に、いずれの企業においても国際競争を意識せざるを得ない状況にある。また、技術革新や新製品開発などによりビジネス環境は目まぐるしいスピードで変貌しつつある。こうした状況に立ち向かうために、新しい視点や柔軟な発想を持ち、従来の垣根を越えた幅広い領域から知恵と情報を集めることを目的として、テーマを絞った研究会を複数設定し開催した。

4-1 工場経営研究会	
概要	経営幹部・製造責任者が工場運営の舵取りを行う上で不可欠な、実務知識とノウハウを体系的に学ぶことを目的とした研究会。参加者同士のディスカッションや情報交換により相互研鑽を促し、工場運営を全般にわたって統括・マネジメントできる人材の養成を図った。
実施内容	「工場の経営戦略」、「事業計画の立案」、「製販一体化」、「資材・購買戦略」、「省エネ」、「技能伝承」、「工場内物流」、「品質管理と標準化」、「コンプライアンス」、「環境問題への対応」などをテーマに定例研究会を開催した。
	開催期間 4月～平成30年3月

4-2 知的財産研究会		(後援/近畿経済産業局、大阪府)
概要	新しい技術や付加価値の高い製品を知的財産権で守り、他の追随を許さない戦略が生き残りの鍵を握る。本研究会では知的財産を企業戦略の重要な柱と位置づけ、積極的に創造、保護、活用していくための方策をともに学び、考える場として実施した。(大阪工業大学知的財産学部との連携による共同開催)	
実施内容	「企業活動と知財戦略」、「地域創生・中小企業支援への特許庁の取り組み」、「安定・平準を目指す日本型特許戦略」、「米国知財訴訟において日本企業が直面する問題点」、などをテーマに定例研究会を開催した。	
	開催期間	5月～平成30年3月

4-3 工作機械加工技術研究会	
概要	機械加工分野の技術は、超精密加工、高速化、省エネ性などと時代の要請にあわせて進化を続けており、先端技術を取り入れることが企業の競争力を高めることに直結する。加工技術と工作機械にまつわる最新の情報を得るため、機械メーカーの見学、先進事例を紹介する講演会などを実施した。
実施内容	工作機械および工具メーカーからゲストスピーカーを招いて、「工作機械の最新技術」、「マシニングセンタの運動特性」などの講演を6回、工場見学を2回実施した。
	開催期間

4-4 新産業と経営革新研究会			
概要	新たな市場領域やビジネスチャンスの獲得、技術力や独自ノウハウを活かした新規事業の創出、あるいは経営革新で生き残りを図るため、情報収集を目的とした研究会を開催した。		
実施内容	<p>「3Dプリンタ実践研究会」 3次元CADのデータを入力すれば、あたかもプリンタで紙に印刷するかのように寸分違わぬ立体モデルが出力されるという3Dプリンタ。その可能性を探り、これからの導入・活用方法を考えるため、情報収集の場を設けた。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>6月～平成30年1月</td> </tr> </table>	開催期間	6月～平成30年1月
	開催期間	6月～平成30年1月	
	<p>「医療機器産業参入研究会」 高齢化や健康志向の高まりにより、健康・医療分野には多様なニーズが潜在している。それをビジネスに結びつけるにはどうするか。そのヒントを得るための情報収集の場として、全8回の研究会を開催した。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>9月～平成30年3月</td> </tr> </table>	開催期間	9月～平成30年3月
	開催期間	9月～平成30年3月	
<p>「次世代の工場 最新技術研究会」 インダストリー4.0やI o Tが注目されるなか、日本の工場が進むべき方向を探るため、最新ロボット技術やF A、I T活用などの先進的な事例を取りあげ、講演6回、実地見学2回の計8回開催した。</p>			
<table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>9月～平成30年3月</td> </tr> </table>	開催期間	9月～平成30年3月	
開催期間	9月～平成30年3月		
実施内容	<p>「最新自動車テクノロジー研究会」 自動運転や環境性能の工場など進化を続ける自動車技術の最新動向を知り、ビジネスチャンスを見出すため講演会形式による研究会を開催した。 日産自動車(株)、(株)デンソー、マツダ(株)など6社から話題提供。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>9月～平成30年3月</td> </tr> </table>	開催期間	9月～平成30年3月
開催期間	9月～平成30年3月		

5

経営支援・会員交流推進事業〔その他事業〕

協会の大きな特色は、規模や業種の異なる多様な事業所を擁する会員組織にある。

本事業では、会員相互の有機的な連携と協調を促進することを目的として、情報発信および会員交流の支援、そして個々の事業所の経営相談や社内教育の支援などにも積極的に取り組んできた。

5-1 機関誌「商工振興」の刊行

(大阪府商工労働部監修)

概要・ 実施内容	月刊の機関誌として全会員に配付。講演録や見学記など協会事業の実施報告、経営者へのインタビューによる会員紹介記事を掲載。今年度は「創業者偉人伝」や「ものづくりワードQ&A」など昨年につづき掲載した。 そのほか、大阪府による各種支援施策周知のため、MOBIO（モビオ:ものづくりビジネスセンター大阪）や大阪府立産業技術総合研究所から発信される情報の広報も継続して行った。
-------------	--

5-2 経営指導と情報提供

概要・ 実施内容	会員事業所からの経営上、技術上の相談に応え、情報提供や専門家の紹介を行ったほか、社内研修の要望に対しては、講師派遣などにより対応した。	
	社内研修の支援（講師派遣）	3事業所に対し、計5回実施
	会員事業所を対象に参加費無料の講演会を開催。タイムリーなテーマを取りあげ、新しい情報を発信した。	
	開催件数	1回
	従業員の自己啓発を促すため、通信教育講座を開催した。	
	開催件数	439コース

5-3 新入社員教育講座

概要	新入社員に職業人としての自覚を促し、仕事に取り組む心構えと基本常識を習得させるため、総合基礎教育のほか配属部門ごとの導入教育やビジネスマナー研修を開催した。今年度はさらに拡充し、機械・樹脂など業界ごとに区分した研修、および組織における規律や礼節を身につけさせる禅寺合宿も実施した。	
実施内容	「総合基礎教育」、「生産実務」、「営業基礎」、「技術系基礎」、「ビジネスマナー」、「材料の知識」、「加工の知識」、「図面の読み方」、「品質管理」、「禅寺合宿研修」など	
	開催件数	24回

5-4 経営者経営交流会	
概要	経営トップがこれからの戦略を考え、進むべき方向を見出す研鑽の場、および異業種企業との相互交流の機会として「経営セミナー」を開催した。
実施内容	「秋期経営セミナー」、「早春経営セミナー」
	開催件数 2回

5-5 経営幹部異業種交流会	
概要	次代の経営を担う経営幹部、あるいは部門責任者が共通のテーマのもとに集まり意見交換や情報収集を行う場として開催。ともに学び、研鑽を重ねるとともに、異業種・異分野での人的ネットワークの形成を図った。
実施内容	「技術者革新塾」 中堅技術者の相互研鑽、スキルアップを図る 「若手経営者・後継者のための『朝活』」 出勤前の時間帯を使った異業種交流会 「工場長大会」 工場運営のあり方、生産革新への取り組み方をともに考える 「人材活性化フォーラム」 どうすれば若手が定着し育つのか、企業の実例からヒントを得る
	開催件数 4件

5-6 経営マネジメントスクール	
概要	中堅・中小企業の若手管理者、管理職候補者を対象に、企業におけるマネジメントの原理・原則を学ぶ場として開催。業界や事業内容、担当部門に関わらず共通して求められる戦略的思考や分析能力、あるいは計画立案力、問題解決力、チームオペレーションといった、管理者としての本質的なスキルを高めることを目的に、多様なテーマを取りあげた。
実施内容	「ロジカルシンキング」、「グローバルマネジメント」、「ファシリテーション」、「マーケティング戦略」、「生産・調達マネジメント」、「目標管理」、「コンプライアンス」などのテーマで開催。
	開催期間 7月～平成30年3月

5-7 新技術研究会	
概要	技術革新・生産革新に挑戦し、進化し続ける工場を訪問。その優れた現場の知恵とノウハウを学び、改善のヒントをつかむ研究会。日本で勝ち残る「強い工場」はまだまだ多く存在しており、いずれも他の追随を許さない独自技術や製品開発力を有し、優れた生産技術力あるいは固有の生産システムに磨きをかけている。こうしたメーカーの実際のものづくり現場の見学と技術者によるレクチャーを行うことで、自社の経営、工場運営に役立つ情報を吸収する研究会を開催した。
実施内容	定例研究会：川崎重工業(株)、ヤンマー農機製造(株)、三菱電機(株)など12社を訪問 特別研究会：沖電気工業(株)、三菱重工業(株)など4社を訪問
	開催期間 4月～平成30年3月

5-8 施設と工場見学研修	
概要	普段は見るできない他社、および異分野の現場に学ぶ見学研修を積極的に実施し、経営者や技術者の情報収集ニーズに応えた。
実施内容	「関西元気企業訪問」、「優秀工場見学会」、「Eco工場見学会」、「物流施設見学会」などさまざまなテーマ性を持たせた見学会を実施
	開催件数 23回

5-9 海外産業視察研修	
概要	グローバル経営に対応するための情報収集の機会として実施。日本の製造企業が進出しているアジアの新興国、市場として有望な欧米諸国を実際に訪問した。
実施内容	「イタリア」「マレーシア・シンガポール」「ドイツ」「アメリカ・カナダ」の計4回実施。生産現場の現地見学を行うとともに、現地駐在者から経営上あるいは工場運営上の課題、市場動向、インフラ整備状況などについて説明を受けた。
	開催件数 4回

5-10 展示商談会	
実施内容	会員事業所と大手メーカーとをつなぐマッチング事業として、会員事業所が持つ技術・製品を直接アピールする「新技術・新工法展示商談会」を実施。今年度は、マツダ(株)広島本社を会場に開催し、56社が出展。同社の調達・技術担当者や関連サプライヤーから936名が来場した。
	開催日 平成29年7月13・14日

5-11 優良従業員表彰	
実施内容	会員事業所における労使関係の安定と従業員の勤労意欲増進を図るため、長年にわたり職務に精励し、他の模範となる従業員として事業主から推薦を受けた者を選考し、表彰を行った。
	開催日 平成29年11月22日 表彰式および祝賀会

5-12 会員交流と懇親会	
概要	会員企業経営者・事業主の相互理解と親睦を深めるため交流・懇親の場を設けた。
実施内容	「井上会長杯ゴルフコンペ」
	「平成30年新春年賀交歓会」